

泌尿器科領域の低侵襲医療（身体への負担軽減に配慮した医療）を実施する病院として、前立腺がんや腎がんなどの診療を担う。

腹腔鏡下手術支援ロボットを使った前立腺がんの手術は年々増加傾向にあり、直近1年間（2023年9月～24年10月）で138件、18年2月の開院から累計で638件となった。20年に開始した腎がんに対するロボット支援腎部分切除術（腎機能を温存した低侵襲手術）も、直近1年間

（23年9月～24年10月）で11件、20年からの累計で39件となった。

前立腺がんの診断は、MRI（磁気共鳴画像法）と超音波による融合画像を用いた針生検（がんが疑われる標的への狙撃生検）を実施し、より正確な位置から組織を採取してがんの有無を調べる。早期発見から治療まで、一貫してがんと向き合っている。

前立腺がんは食生活の欧米化に伴ってリスクが高まるとの報告があるがんの一つ。採

## 一貫した前立腺がん診療担う



別府湾腎泌尿器病院 病院長

佐藤 文憲氏

### 病院DATA

#### ●診療科目

泌尿器科、内科、循環器内科、糖尿病内科、婦人科  
リハビリテーション科、放射線科、麻酔科（局麻）

#### ●診療時間

平日／9:00～12:30、13:30～17:30

土曜／9:00～12:30

#### ●休診日

第5土曜、日曜、祝日、年末年始



患者に寄り添った治療方針を提案

血で前立腺がんをスクリーニング（ふるい分け）するPSA検査は健康診断で受けられる。自由診療で費用は3千円程度。同じ建物内にある、大分健康管理協会が運営する大分総合健診センターで受診できる。「50歳以上の人はぜひ検討してほしい」と呼びかける。高齢化に伴い発症しやすいがんで、80～90代の患者も来院するため、放射線やホルモン療法なども選択肢に、体調や希望を勘案して治療方針を決めている。

尿管結石、前立腺肥大、女

性の尿失禁、膀胱機能障害など、一般的な泌尿器科の疾患に苦しむ患者とも向き合う。「訴えを聞き、悩みを解決するためには何ができるか、共に考える姿勢を大切にしていく」と信念を語る。「前身の病院から受け継いだ、地域に密着した内科医療と、がん診療を中心とした泌尿器科の診療という二つを融合させた。排尿に困っている地域の患者さんのケアも担う」。今年が開院7周年。これからもスタッフと心を合わせ、病院の使命を果たしていく。



別府湾腎泌尿器病院

別府市北石垣深町851番地  
TEL0977-66-4111  
<https://bbuh.jp>

